

みちしるべ

あなたの道を主にまかせよ。／信頼せよ、主は計らい
あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを
真昼の光のように輝かせてください。
詩編37編5～6節

主題聖句

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

第20期 103号

発行者 平山美保
編集者 岡田レツ
印刷 平山印刷出版
TEL 096-234-6515

主題「主と共に歩む」

主と共に歩む



牧師
小泉 基

健軍教会
甲佐教会
長崎教会

(第20期女性会担当牧師)

九州教区女性会は、2月に行われました総会において、今期3年

間のテーマとして「主と共に歩む」という主題を掲げました。

「主と共に歩む」ということの意味は、当然ではありますが、「ひとりで歩むのではない」ということです。

わたしたちは、実際には日々たくさん仲間とともに歩んでいます。しかしながら、気持ちが後ろ向きになつていくときに、そのともに歩む仲間の姿が見えなくなったり、なんだか自分ひとりが頑張つてゐるつもりになつてしまふ。本当は支えてくれる家族や仲間がいるにもかかわらず、その人たちの

姿が見えなくなつてしまふのであります。

神さまの愛というのは、ラジオの電波に喻えることができます。ラジオは、スイッチを入れていなければただの箱にすぎませんが、スイッチを入れてチューニングを合わせることによって、美しい音楽や賑やかなトークを楽しむことができます。けれども、たとえスイッチが入つていない時でも、見えないラジオの電波がこの空間を満たしていることには変わりがないのです。

神さまの存在、またその愛を、わたしたちが感じとろうとしてチューニングを合わせるならば、

そのように、主とともに、また仲間とともに、神さまの愛を感じ取りながら、この新しい3年間を歩んでまいりましょう。

その時わたしたちは、無限にその愛を感じ、受け取ることができます。わたしを助けようと、ともに歩んでくれる家族や仲間の存在を、いつもすぐその傍に見いだすことができるのです。

ですから、わたしたちはひとりで歩むのではありません。どんな時でも、主とともに歩んでいく。主が送つて下さるわたしたちの助け手とともにあゆんでいくのです。



おめでとう、恵まれた女性たち

第20期九州教区女性会会长 平山 美保

主の御名を讃美します。
教区に連なる女性の皆さまの
お働きを覚え、また支えてくだ
さいますことを感謝申し上げま
す。

この題は、2月の女性会総会
においての就任式でプレゼント
された天の使いのことばです。
「おめでとう、恵まれた女性た
ち」…。
教区女性会の役をいただき、
皆さまからことばをかけていた
だきました。「働き、がんばっ
てね」「祈っています」「みちし
るべ、いつも読んでいます。あ
りがとう」。

あたたかい心のこもつたこと
ばというのは、こんなに嬉しく
響くのだと実感しています。そ
してこの役目をいただいたから

こそ、受け取れた恵みです。あ
りがとうございます。

課題が多いといわれますが、
今の状況を受け入れて、喜びを
もつて活動していきたいと思いま
す。皆さまが、生き生きと取
り組んでいらっしゃる日頃の活
動を分かち合いたいとも願つて
います。喜びと感謝のあるところ
に主は人を遣わし、祝福され
ると信じます。どこの地にあつ
ても、祈り合う確信に励まさ
れ、主と共に歩みましょう。

就任式の天の使いのことば
は、きっと宣言なのです。任期
の始まりに恵みを先取りしてく
ださいました。実はピンときて
いた。実はピンときて
いたこのことばを、今期
じっくり味わえると楽しみにし
ています。



文書
岡田レツ
(神水)



書記
安藤 恵
(健軍)



会長
平山美保
(神水)

社会的には「後期高齢者」の仲間入り。教会では現役の働き人として婦人会・教会の行事に奉仕させて頂いています。皆さまの御協力のおかげで感謝です。今後ともよろしく。



連盟(会計)
江崎恭子
(健軍)

野の花を求めてのドライブや温泉、庭いじりが好きなアラセブンです。人前で話すのは苦手。思いがけない役割に戸惑っていますが、神さまに背負われて務めています。



会計
岩崎良子
(大江)

会計の岩崎良子です。
大江教会にイフサキ・ヨシコが二人います。旧姓青木、青山です。名を漢字で書く以外は判断できません。間違えないで下さいね。



副会長
寺本 晟
(大江)

超アナログなわたしですが、役員の方々のお力を添えを頂いて、少しでも教区の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。神さまのお導きを心からお祈り致します。

共に
恵みを



紹介する。
の活動などを
て、各女性会
4名と約6割。この恵みを感謝。祈り、
支え合っている確信を得られるよう願つ
て、各女性会
の活動などを
紹介する。

「高齢の会員と共に恵みを分かち合う」
第20回総会において承認された20期活動目標四つの柱の一つ。本期の教区会員数は299名で、内70代以上の方は18

礼拝後に女性の皆さんで

唐津教会女性会



唐津教会女性会定例会

唐津教会 白石 道子

わたしたち唐津教会女性会は現在、会員の7割が70代以上を占め、高齢化と共に実働できる人数もなく、奉仕活動も自ずと縮小せざるを得ないのが現状です。

さてこの度、「女性会における高齢者の方との交わりや活動について」というテーマで

まず肉体的な衰えは否めな

いシニア世代にとって、体力

をつかつての行事や奉仕活動

への参加は段々と遠ざかって

しまいがちです。それならば、

心身の負担が軽く元気をもら

えることつて何だろう？ そ

れはやはり女性会の姉妹方と

の温もりのある心の交流では

ないかと思うのです。

実際にわたしも礼拝に集わ

せていただき、そこで顔を合

わせた方々と「おはようござ

ります」「お元気ですか」など

と明るく声を掛け合うだけで、

祈りと笑顔でほっこりと

原稿依頼を受けました。73歳、わたしもまた後期高齢者の入り口にいる身で、このテーマにどのような切り口でお応えして下さいのか、大変戸惑いました。が、最終的に一人の高齢会員としてわたしたちの女性会がどのような場であつてほしいかを自身の心に問うてみました。

前のことですが、体の不調も増え、どこか淋しくもある高齢の身にとつて、教会のそして女性会の姉妹方との何気ない交わりのひとときは、どこか特別な喜びをもたらしてくれるもののような気がします。

そんな思いのなかから、今

は何かと時間に追われ、バタバタと過ごしてしまった

たちの例会の在り方も、今後

は少し見直して、ときには食

事を共にし、ゆっくりと「お

しゃべり」を楽しむ日も作りたいものだと考えています。

また、病床にある会員の方々

にも声かけの機会を増やし、

共に祈りのときをもちながら、

主にある交わりの喜びを分かち合えたならと願っています。

共にいて下さる主を信じて

第24回女性会連盟総・大会

大会

喜びに満たされ

第24回女性会連盟大会は、召天者記念礼拝から始まりました。

続く基調講演では、片岡輝美氏から「主に喜ばれることを吟味する—福島原発核事故7年目のメッセージ」というテーマで、東日本大震災（2011年3月11日）から今日までの被災地・福島の現実をお聴きしました。

自分なりの被災地支援を行つてきましたつもりでしたが、講演をお聴きして、福島原発核事故について自分は傍観者になつてゐたのではないかと考えさせられました。そんなわたしに、片岡氏は、あなたにできることは①社会・政治に関心を持つこと②メディアを育てるこ^③話しあえる仲間を作ること、と教えて下さいました。また、「一つの転緊張した雰囲気となる。

正しい答えがでてこないこの問題に関しては「悩み続けることとモヤモヤし続けることが大切なのです」というメッセージに励ましをいただいた思いでした。

その後の分科会では、今後の連盟のあり方についてグループ毎で話し合い、「3年に1度顔を合わせすことの喜びとつながることの意義」「今回のような素晴らしい講演を行つてほしい」などの意見が出されました。全体の報告を楽しみにしています。

（八幡教会 岩切曼世）

総会

連盟会長選

今年は3年に1度、たくさんの人にお会いできる連盟総・大会の年である。みんな笑顔であるが、総会が始まると議場は一



第24回女性会連盟総・大会
「共にいて下さる主を信じて」
—信仰と、希望と、愛—
2018年6月7日(木)～
8日(金)
会場・メルバルク名古屋
参加人数242名、うち九州からは48名。教職16名。
大会講演は片岡輝美氏（お連れ合いが福島県・日本キリスト教団若松栄町教会牧師）による「主に喜ばれることを吟味する」。

ずっと各教区から推薦された方々から投票で選ばれていた。推薦された方の挨拶は「わたしを選ばないで」と言つてはいるようにな聞こえることもあつた。しかし、今回の総会で規約改正となり、各教区代表による互選で会長が選ばれ、総会で承認されるという方法に変わつた。議場も選挙をせずに会長が決まつたのでほつとした雰囲気であつた。こうして新たに選出された会長さんは、3年後には立派に務めを果たしておられることだろう。何故なら、会長さんのうえに聖靈の働きがきつとあるからとわたしは信じている。重荷を担つてくださる会長さんに感謝しつつ、帰りは皆、笑顔になつていた。（箱崎教会 山口美保）

わたしにとつて教会は

そこに在ること

健軍教会
たかはま
高濱 留都
るつ



わたしはクリスチャンホーミュに生まれ、幼児洗礼を受け、毎週両親に連れられて教会に通っていました。わたしにとつて教会は常にそこにあり、神さまは隣にいるものでした。

そのことに疑問を抱いたこともありませんでした。

みかん農家である実家（静岡県）は地域の「宗教的行事」

も普通にお付き合いしていまして、わたし自身もそれらの活動に楽しく参加していました。それでも成長とともにこの地域ではクリスチヤンはごく少数派であること、大部分の人はキリスト教を知らない

ことなどが分かつてきて、恥ずかしくて自分がクリスチヤンであることを積極的に話しませんでした（名前が名前なので分かる人には、分かってしますが）。

そのようにひつそりと教会生活を送っていたので神さまについて熱く語る人や信仰に基づいて社会的な活動をしている人たちがうらやましく、自分

なんだかフワフワと軟弱な感じがしていました。

そんなわたしも結婚して熊本に来て20年。相変わらず脱力系の信仰生活ですが、昨年の春に娘の大学進学のため、父が洗礼を受けた宣教師のお嬢さんの家に娘と泊めていた。まだ機会がありました。またたく初対面のわたしたちを快く泊めてくださり、恐縮していると彼女は「鈴木さん（旧



健軍教会女性会のみなさん 連盟総・大会にて

姓）の娘さんに会えてほんとうに嬉しいです」と言つてもてなしてくださいました。彼女はその前の年に何年かぶりに浜名教会（静岡県）の礼拝に参加し、わたしの両親がそこにいたこと、礼拝にいだことがとても嬉しかったと言つてくれました。もちろんそこにあることができるの、彼女の父親である宣教師がわたしの父に神さまを出会わせてくれたおかげです。

わたしはそれを聞いて、ただそこにいること、何かできるとかできないではなく、そこに存在していることがとても大切で、価値あることなのだと知りました。

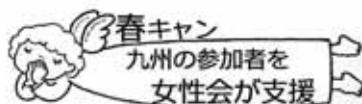
わたしたちは、赦されてここにいます。今できることを大切に、赦されて在ることに感謝して過ごしていきたいと思っています。

第 25 回 春の全国 TEENS キャンプ

3月 27 ~ 29 日、神戸にて、全国から 88 名、うち九州からは 32 名の Teens が参加して行われました。小 6 年から高 3 年まで縦割りで 11 のグループに分かれ、「We are Christ's Two Arms！」のテーマについてじっくり考え、話し、向き合い、それぞれがキリストの両腕であるとの自覚と励ましをいただき、キャンプから遣わされていきました。

春キャン常連の子はもちろん、初めて参加の子も楽しく過ごしていました。きっと後々まで心に残るキャンプとなつことでしょう。

(博多教会・福岡西教会牧師 池谷考史)



春キャン・ザ・ファイナル 博多教会 浅嶋優斗

今年 3 月、高校生活と共に春キャンを卒業しました。ぼくは小学 6 年生（卒業）の時の奈良、中学 3 年生の時に統いて 3 回目の春キャンでしたが、非常に色濃い、充実した 3 日間を過ごすことができて、気持ち良くキャンプ生活を過ごすことができたなど達成感をひしひしと感じています。

今年のテーマは「We Are Christ's Two Arms!」で、わたしたちが人のためになした行いが本当に人のためなのか、ましてや自分の利を目的として成した工ゴなのか、について熟考した経験はとても有意義な時間になりました。

また朝のモーニングデートでは、聖書の読み合わせやお祈りを捧げることでペアとの心をひとつにし、イエスさまへの愛や、信仰をお伝えすることができました。

しかし、反省すべき点もあります。キャンパー最年長としての行動がとれていなかつたことです。もっとリーダーのお手伝いや年下のメンバーと交流する時間が割かれてればと、悔しい気持ちも滲んでいます。この悔しさを晴らすべく、来年や再来年にスタッフとして携わる機会があれば、是非多くのキャンパーたちとの触れあいを大切にしたいと思っています。

このように反省もある今年の春キャンでしたが、充実したラストキャンパーの生活を送ることができました。次はスタッフとしての参加になりますが、その際はキャンパーから信頼される頼もしいリーダーになって参加したいと思います。

実は、ぼくはすごくシャイなので、もし次回来たら是非皆さん、世間話でもよいのでどしどし話しかけてくださいね！

キリストの腕とされているわたしたち



わたしが学んだこと

玉名教会 久保田咲羽

わたしは今回の春キャンが初参加でした。はじめは、知り合いが一人もいなくてとても心細かったけれど、皆フレンドリーに話しかけてくれてすぐに打ち解けました。だから、その後の活動や食事の時間はとても楽しかったです。次の春キャンに参加したらもっと友だちを作りたいです。

さて、今回の春キャンのテーマは「奉仕」でした。良いこととは自分にとっての良いことと人のための良いことの 2 種類があると学びました。でも、最終的にはすべて人のためになっているから、これからも自分のためでも人のためでも良いことはしているこうと思いました。また、困ったときはお互い様なので困っている人を見つけたら助けたいです。

My Story…**マイストーリーから
ユアストーリーへ**

教区に連なる女性たち人生の物語集
主の御名を賛美いたします。

「マイストーリー」編集時にひと
あし先に姉妹方の御証を読ませて
いただき、この企画は神さまから
のプレゼントだと思いました。

お一人おひとりの横におられる
イエスさまを豊かに感じることができ
るからです。もっともっと聞
きたいとも思いました。

他教区の女性会にもお送りしま
したところ、西教区からは「若い
世代に読んでほしくて、コピーし
てお渡ししています。自分たちも
作りたい」との嬉しいお言葉をい
ただきました。これがわたしたち
の願いでした。

感じていても感じていなくても、
主はわたしの隣を歩んでくださっ
ている。証をすることで、誰かに
主を伝えられれば、こんな嬉しい
ことはありません。感謝！

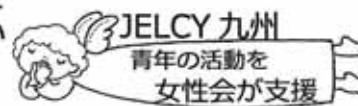
第19期教区女性会
会長 原 真理

「My Story」～主は私の羊飼い～

宗教改革500年を記念して、第19期九州教区女性会
が2017年に発行した、女性たちの生きたストーリー集。

青年会からお礼状 (抜粋)

いつも、青年会のことを覚えてください、あ
りがとうございます。3月に女性会からの支
援金を受け取らせていただきました。たくさ
んのご支援、感謝申し上げます。これからも
青年会をどうぞ
よろしくお願ひ
いたします。
会長 深町創太

**筑後地区**

8月18日(土)
11:00～15:30

平和礼拝

田主丸教会

平和を願い、求め、祈り、歩み出す

九州教区女性会 会長会**熊本地区「秋の集い」**

9月 29日(土) 健軍教会

教区会長会 11:00～15:15

熊本地区 13:00～15:15
(午後から合同)

講師：鶴 順子 氏 佐賀教会代議員
レインボーハウス施設長
「思いを超える主の恵み」
-レインボーハウスの働き-

11:00 会長会 (10:30受付)
12:00 昼食
12:40 熊本地区秋の集いの受付
13:00 礼拝 (以下合同のプログラム)
13:30 講演 鶴順子氏
14:30 午後のくつろぎタイム (活動紹介など)
15:00 閉会礼拝 15:15解散

小倉・門司・ひかり・たにまち**合同バザー**

11月23日(金・祝)

11:00～14:00 八幡教会

リサイクル品や手作り品がならびます。
レインボーハウス(佐賀)のお菓子もあります。



阿部 彩子姉 34歳（熊本）
2018年6月20日
野田藤男牧師（引退）ご伴侣
これまでのお交わりを感謝します。
ご家族のみなさまのうえに、
主のお慰めをお祈りいたします。

川瀬 光世姉 93歳（神水）
2018年6月12日
（八幡）
野田 馨子姉 89歳（八幡）
2018年6月20日

西村 溫子姉 92歳（室園）
2018年2月21日
鵜川 フミ姉 102歳（神水）
2018年1月28日

ご召天



歩みと予定

2月25日（土）熊本
第20回教区女性会総会
3月11日（火）健軍
第1回役員会
3月20日～21日 久留米
九州教区総会 平山
4月5日（木）健軍
第2回役員会
5月29日（火）
連盟に会費を送金
6月7日（木）～8日（金）
第24回連盟総・大会
ホテルメルパレク名古屋
6月20日（水）健軍
第3回役員会
7月5日～6日 東京
連盟役員会 江崎
7月9日（月）神水
社会奉仕部部会 平山
7月10日（火）
みちしるべ103号発送
8月18日（土）田主丸
筑後地区平和礼拝
9月11日（火）健軍
第4回役員会
9月29日（土）健軍
教区女性会会长会＆
熊本地区秋の集い
11月23日（金・祝）八幡
合同バザー

第20期主題聖句の件 詩編37編5節～6節

第20回総会で承認された主題聖句は新改訳でのご提案でした。この件は総会終了後にわかりましたので、第20期役員で協議し、担当牧師にも相談しました。その結果、前期役員のご了承をいただいて、日本福音ルーテル教会が用いている新共同訳の同箇所を主題聖句とします。（第20期 教区女性会役員会）

報告

第24回女性会連盟総会

2018年6月8日
メルパレク名古屋

—24期連盟の活動が承認されました—

総 主 題 神の恵みによって共に生きる
副 主 題 喜び、励まし合い、思いを一つにし、平和を求める
主題聖句 「わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。」
活動方針 ・もっと社会へ目を向けよう
 ・年2回の「会報」と「ひびき」、ホームページによる情報発信と共有
 ・聖書研究によるみ言葉の学び
 ・感謝献金による国内外への宣教と支援
 ・次世代への信仰継承と伝道教育の奉仕支援
 ・物品販売による震災支援－海産物、缶詰、布ぞうり、つるしひなの販売

連盟役員 ※※※※※※※※※※※※

会長 中原通江（西・西条） 副会長/書記 坪本告子（東・日吉）
会計 江崎恭子（九州・健軍） 文書 澤田小枝子（東海・挙母）

今期初めての「みちしるべ」をお届けします。突然の原稿依頼にもかわらず、皆さまが快く寄稿して下さいました。心から感謝いたします。お気づきですか？ 文字を少し大きくしました。ご意見、ご希望がありましたら、役員にお知らせください。夏本番を迎えます。熱中症にはくれぐれもご注意くださいね。（R・O）

編集後記